

歴史と実践

石鹸と歯磨から始まったライオンは、120年以上にわたって口腔衛生文化・清潔衛生文化の担い手として、数多くの暮らしに役立つ製品の提供を通じ、人々の暮らしとともに歩み続けてきました。また、それは、商品の提供のみならず、生活者への啓発活動や情報提供を通じた良き習慣づくりの歴史でもあります。近年では、生活者の毎日がより前向きに、充実したものとなるよう、高付加価値製品の開発・啓発活動の推進を行い、いまやその活動はアジア諸国にも広がっています。

創業
1891年

初代小林富次郎が東京神田柳原河岸に小林富次郎商店を開業。口腔衛生、衛生観念の普及と啓発を行い、ライオンの社会活動の原点となる。

1950年代

戦後の日本の衛生環境改善とその後の水環境問題に 대응。大量生産に併せて工場を相次ぎ建設、世界に通用する製品の開発・生産・販売に注力。

1980年代

ライオン歯磨株式会社やライオン油脂株式会社が合併し、ライオン株式会社が発足。多様な口腔の健康問題に、より科学的な研究で対応。

1990年代

原油資源問題・省資源化への対応として、植物原料の製品を拡大。

2000年代

食中毒の多発などにより社会的に高まる除菌ニーズに対応し、薬用石鹸や子どもへの啓発活動を展開。また、現在に続く予防歯科の礎を築く。

2012年

経営ビジョン「Vision2020」のもと、予防歯科を推進する「クリニック」などの高付加価値製品の開発とグローバルブランドの育成に注力。

2017年

新経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」を発表。一人ひとりの「心と身体」のヘルスケア実現に向け、新たなライオンが始動。

製品による価値創出

1891

初代小林富次郎が石鹸およびマッチ(燐寸)の原料取次ぎの小林富次郎商店を開業



1911 日本初

チューブ入り煉歯磨「ライオン煉歯磨」を発売

1900

社会貢献活動のために粉歯磨「慈善券付ライオン歯磨」を発売



社会貢献による価値創出

1920 日本初

植物性石鹸「植物性ライオンせんたく石鹸」を発売



1948 日本初

フッ素入り歯磨「ライオンFクリーム」を発売



1956 世界初

野菜果物・食器洗い専用の台所用洗剤「ライポンF」を発売



1962 日本初

制泡性洗濯用洗剤「ハイトップ」を発売



1964

歯槽膿漏予防の「デンターライオン」歯磨を発売



1993

歯周病予防のための「デンターシステムライオン」を発売



1961

産業歯科保健活動「さくらんぼ運動」による各地区の会社・事業所を対象にした口腔衛生指導、治療相談などを実施

1972

消費者相談室(現お客様相談室)を設置

1994

全国の歯科医師を対象とした「歯科セミナー」を開催

1925

農漁村の生活改善のために洗濯実習会を開始

1937

「標準家庭洗濯法」を発行、多くの高等女学校家庭科の教材に採用

高付加価値製品の開発



グローバルブランド製品の開発



2002 第59回「学童歯みがき大会」開催



2014 新生活情報メディア「Lidea」開設



2015 アジア初 使用済み歯ブラシで環境負荷低減に貢献「ハブラシ・リサイクルプログラム」開始